

EXPO'70



写真：万博ミュージアム展示風景

入場
無料

1970年に開催された日本万国博覧会は、77カ国の参加のもと6400万人を超える入場者があり、高度経済成長期に我が国を代表する一大イベントとして盛り上がりました。このたび、日本万国博覧会記念公園事務所所有のパネルやグッズを展示し、府立中央図書館所蔵の万博関連図書を紹介いたします。また、万博グッズ収集家として知られる白井達郎さん（万博ミュージアム館長）にお話ししていただき、同館秘蔵品の展示も行います（7月28日まで）。当時を全く知らない世代が増える中、今、改めて70年大阪万博を振り返るとともに、2025年万博誘致の機運を盛り上げます。

展示期間 平成30年7月3日（火曜日）から7月29日（日曜日）迄

会場 大阪府立中央図書館1階展示コーナー
火曜日～金曜日 9時から19時（土曜日、日曜日、祝日は17時迄）
万博ミュージアム所蔵品の展示は7月28日（土曜日）まで
7月9日（月曜日）、17日（火曜日）、23日（月曜日）は休館日

関連講演会

「大阪万博よもやま話し - 2025年万博の夢」



講師 白井 達郎 さん
万博グッズ収集家
万博ミュージアム館長

7月22日（日曜日）14時より15時30分まで

定員 80名（申込不要・先着順・受講無料・開場は13時30分より）

大阪府立中央図書館 2階多目的室

（東大阪市荒本北1-2-1）

講演概要

日本の高度成長期最後の大会となった日本万国博覧会は、21世紀への未来の夢を抱かせてくれたタイムカプセルのようなものでした。人々はこぞって会場に足を運び、不思議な形のパビリオンとそれに並ぶ長蛇の列に驚きました。来場者はこの驚きをみやげ話しに、たくさんのおみやげ品を手にして帰りました。今回、展示しましたグッズはおみやげ定番品からこんなものまで・・・そして色もデザインも素材もまさになんでもあれの全開モード。これだけの商品を生み出した万博の思い出とよもやま話を皆さまと一緒に振り返ってみたいと思います。

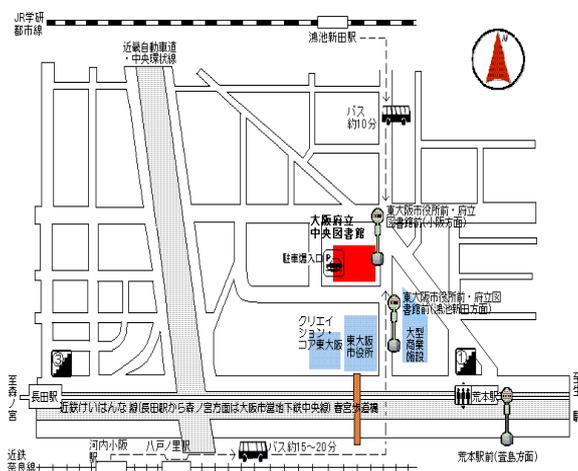
万博グッズは既に半世紀を経過し、時代を写す文化的資料となっています。皆さまのご家庭にグッズが眠っていましたら鑑定させていただきますので是非、当日ご持参ください。

【講師紹介】

白井 達郎（しらい たつお） 万博ミュージアム館長

1954年大阪市生まれ。1967年万博関連新聞記事をスクラップ、同時に資料収集を始める。1970年(高校1年)大阪万博会場内のレストランでアルバイト。その後も資料・グッズ収集を続ける。2002年兵庫県に現存していたパビリオンのウルグアイ館を貰い受け、自宅(池田市)にて私設万博ミュージアムを開館。各地の博物館などで万博イベントを開催。

※講演会の参加に際して、障がい等の状況により、配慮が必要な方は事前にお知らせください。



【アクセス】

- 近鉄けいはんな線（地下鉄中央線乗り入れ）
荒本駅下車（1番出口）北西へ約400M
長田駅下車（3番出口）北東へ約1000M
東大阪市役所北側

問い合わせ先

大阪府立中央図書館 生涯学習事業担当

〒577-0011

東大阪市荒本北1-2-1

TEL 06 (6745) 0170 FAX 06 (6745) 0262

【駐車場】

○有料地下駐車場：120台/入庫後15分間は無料（平日は100円/60分、最大料金500円、土日祝祭日は150円/60分、最大料金600円）

○詳しくは、次のホームページをご覧ください。

<https://www.library.pref.osaka.jp/site/central/>